

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(弁の動的機能維持評価)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/2/21	NS2-補-027-04	補足説明資料	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.13	別紙2-6-13 図 一般弁(逆止弁)の評価手順について、地震時に動的機能(開閉機能)が要求されない弁は構造強度評価のみ行う手順としているが、JEG4601の評価手順との相違点を踏まえて、当該手順の妥当性を説明すること。	2022/8/18	島根2号機における 一般弁(逆止弁)の評価手順は、JEG4601を採用し、動的機能維持要求の分類に応じた評価として、地震時に動的機能が要求される弁については弁体挙動評価及び構造強度評価を実施し、地震時に動的機能が要求されない弁については、開状態又は閉状態の維持の要求がないことから、構造強度評価を実施しています。	NS2-補-027-04 改04「動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)」P.12,16~23(通し頁P.16,20~23)	
2	2022/2/21	NS2-補-027-04	補足説明資料	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.24	電動弁駆動部の加振試験体の適用口径が、実機の電動弁の口径を包含しているかどうか説明すること。	2022/8/18	電動弁駆動部の型式は口径によらず、どの口径にも適用できるものになります。表2.4-1では、各型式における標準的な口径を示しており、それが分かるような記載に見直しました。	NS2-補-027-04 改04「動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)」P.29~32(通し頁P.33~36)	
3	2022/2/21	NS2-補-027-04	補足説明資料	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.43	主蒸気逃がし安全弁の加振試験(安全弁機能試験)における窒素ガス供給量と実機における蒸気供給量の差異及び、試験においては高加圧状態で弁座漏えいが発生したため吹出し作動をしなかったものの、蒸気供給量等の差異を踏まえると安全弁の機能が維持されると判断しているとの説明の妥当性について説明すること。	2022/8/18	安全弁機能による吹出し作動を確認するには、安全弁を全開させるために必要な容量を確保する必要があり、試験設備における窒素ボンベからの供給では十分な供給量を確保できず吹出し作動を確認できなかったが、弁座漏えいは高加圧中の一時的なものであったほか、加振試験後の安全弁作動試験にて吹出し作動を確認しており、安全弁機能が維持されていること、前述の逃がし弁機能の確認試験において、加振試験中、加振試験後も弁が問題なく全開することを確認していること、試験後の分解点検において弁自体に有意な損傷は確認されていないこと、実機のような十分な蒸気量が供給される条件であれば所定の圧力で動作していたと判断されることから、弁の機能維持に問題は無いと考えます。	NS2-補-027-04 改04「動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)」P.51(通し頁P.55)	
4	2022/4/4	NS2-添2-001-14 改01(比)	比較表(VI-2-1-14)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-14 機器・配管系の計算書作成の方法)	P.182	管の耐震計算書のフォーマット(弁の動的機能維持の評価結果)について、機能維持評価用加速度が機能確認用加速度以下であることを確認する場合及び機能維持評価用加速度が動作機能確認用加速度以下であることを確認する場合における、水平方向及び鉛直方向の応答加速度の扱い方の違いについて説明すること。	今回回答	機能維持評価用加速度が機能確認用加速度以下であることを確認する場合及び機能維持評価用加速度が動作機能確認用加速度以下であることを確認する場合における、水平方向及び鉛直方向の応答加速度の扱い方について記載した補足説明資料を作成しました。	NS2-補-027-10-76改02「弁の応答加速度と駆動部の動作機能確認用加速度の比較の考え方について」P.1~9	コメント移動
5	2022/6/1	NS2-他-132	その他	弁の動的機能維持評価結果の記載方法について	P.1	弁の動的機能維持評価について、機能確認用加速度を超過した弁と超過していない弁の評価時における水平・鉛直方向加速度の扱い方の差異を説明すること。	2022/8/18	弁の動的機能維持評価について、機能確認用加速度ATと動作機能確認用加速度AT1の評価時における水平・鉛直方向加速度の扱い方及び動作機能確認用加速度AT1と機能維持評価用加速度の比較方法の妥当性について、補足説明資料に整理しました。	NS2-補-027-10-76「弁の応答加速度と駆動部の動作機能確認用加速度の比較の考え方について」	
6	2022/7/25	NS2-補-027-10-31改01	補足説明資料	重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について	P.1	手動操作が可能であるため、動的機能維持要求が除外されることについて、記載を拡充して説明すること。	2022/8/18	SA時に動作が要求される弁は、操作時において、直接または遠隔手動弁操作機構による手動操作が可能であることから、電動機駆動や空気作動等の動的機能維持評価は不要と整理しています。	NS2-補-027-10-31 改02「重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について」P.1	
7	2022/8/24	NS2-補-027-04 改04	補足説明資料	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	-	地震後に動的機能が要求される逆止弁について、加振中の弁体挙動評価の結果を確認して説明すること。	2022/11/29	参考資料3として、地震後に動的機能が要求される逆止弁の弁体挙動評価結果を追加しました。	NS2-補-027-04改08「動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)」P.別紙2-5-28(通し頁P.33)	
8	2022/8/24	NS2-補-027-04 改04	補足説明資料	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.55	実機のような十分な蒸気量が供給される条件では所定の圧力で動作していたと判断できることについて、記載を拡充して説明すること。	2022/10/3	加振試験時における加圧設備等の条件について記載を拡充するとともに、実機のような十分な蒸気量が供給される条件では所定の圧力で動作していたと判断できることについて、記載を拡充しました。	NS2-補-027-04改07「動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)」P.別紙2-5-52,54	
9	2022/8/24	NS2-補-027-10-31改02	補足説明資料	重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について	P.1	SA時に動作が要求される弁について、動的機能維持評価は不要としている理由に関して、手動操作が可能であることと動的機能維持の関係性が分かるように記載を拡充して説明すること。	2022/10/3	SA時に動作が要求される弁について、重大事故等時の対応手順として、電動機駆動や空気作動等の動的機能には期待しておらず、直接または遠隔手動弁操作機構による手動操作を基本としていることを明記しました。	NS2-補-027-10-31改03「重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について」P.1	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
10	2022/10/3	NS2-補-027-10-76改01	補足説明資料	弁の応答加速度と駆動部の動作機能確認済加速度の比較の考え方について	P.3	弁の動的機能維持詳細評価で用いる弁の合成加速度の組合せ係数法による算出式におけるx、y及びz方向の応答加速度について、3方向の加速度入力に対する評価方法と合成加速度算出時の組合せ係数法で考慮している最大値発生 の非同時性の考え方について説明すること。	今回回答	弁の動的機能維持詳細評価で用いる弁の合成加速度の組合せ係数法による算出式は、x、y及びz方向の弁駆動部の応答加速度の非同時性を考慮して設定したものであるが、弁が取りつく配管系における固有値解析結果より、ある特定のモードにおいて、複数の方向に対して有意な応答増幅が確認されたため、x、y及びz方向の弁駆動部の応答加速度に対しては同時に発生することを考慮し、動作機能確認済加速度と比較する機能維持評価用加速度については、x、y及びz方向の応答加速度をベクトル和して算出することとします。	NS2-補-027-10-76改02「弁の応答加速度と駆動部の動作機能確認済加速度の比較の考え方について」	
11	2022/12/5	NS2-補-027-04改08	補足説明資料	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.62	表2.6-6について、規定圧力の許容範囲を確認すること。	今回回答	吹き出し圧力の規定値の判定基準は、規定圧力8.56MPaの±1%であり、安全弁作動試験で確認した吹き出し圧力は、判定基準から逸脱しているものが確認されているが、いずれも吹き出し圧力が設定より低下する傾向を示すものであり、プラント通常運転圧力以下(約7MPa)以下まで下がるような顕著な低下も見られていないことから、安全弁機能は維持されていたと判断した旨、追記しました。	NS2-補-027-04改10「動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)」P.別紙2-5-71(通し頁P.76)	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(弁の動的機能維持評価)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
NO.1～78については、NS2-他-182改02で整理済みのため省略。						
79	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.4 他	参考資料1を追加しました。また、追加に伴い参考資料番号を修正しました。	2023/1/17	
80	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.4	以下のとおり、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)参考資料3 弁の動的機能維持の「詳細検討」に適用する試験結果 (新)参考資料4 地震後に動的機能が要求される逆止弁の弁体挙動評価	2023/1/17	
81	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.6	特殊弁及び一般弁の構造強度評価の評価方針について、追記しました。	2023/1/17	
82	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.7～9	「*1」の「1」を削除しました。	2023/1/17	
83	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.12	別紙2-5-5図について、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)MSIVヨークロッド付根アンダーカット部 (新)ヨークロッド付根アンダーカット部	2023/1/17	
84	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.14	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機の今回工認における主蒸気隔離弁、主蒸気逃がし安全弁、一般弁(グローブ弁、ゲート弁、バタフライ弁)及び一般弁(逆止弁)の動的機能維持評価の手順を、別紙2-5-8図、別紙2-5-9図、別紙2-5-10図に示す。 (新)島根2号機の今回工認における主蒸気隔離弁、主蒸気逃がし安全弁、一般弁(グローブ弁、ゲート弁、バタフライ弁)の動的機能維持評価の手順を、別紙2-5-8図、別紙2-5-9図、別紙2-5-10図に示す。	2023/1/17	
85	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.14	島根2号機の今回工認において、一般弁(グローブ弁、ゲート弁、バタフライ弁)の弁箱及びグランド部の評価を省略する理由を追記しました。	2023/1/17	
86	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.14	島根2号機の今回工認において、主蒸気逃がし安全弁の弁体のすべりの有無の確認を不要とする理由について、記載を適正化しました。	2023/1/17	
87	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.14.20 他	別紙2-5-8図～別紙2-5-10図中の配管反力チェックの説明を追記しました。また、記載の追加に伴い、以降の参考資料の番号を修正しました。	2023/1/17	
88	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.15	弁の構造強度評価の許容値において、許容応力状態IV <sub>A</sub> Sの評価のみを行う理由について記載を拡充しました。	2023/1/17	
89	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.19	一般弁(逆止弁)の詳細評価について、「地震中に動的機能が要求される弁」と「地震後に動的機能が要求される弁」に項目を分け、記載を拡充しました。	2023/1/17	
90	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.19	操作装置付逆止弁の操作部動力伝達機構の説明を追記しました。	2023/1/17	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
91	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.20	配管反力チェックの説明を追記しました。	2023/1/17	
92	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.20	別紙2-5-12図に一般弁(逆止弁)の側面図を追加しました。	2023/1/17	
93	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.21,22	操作部動力伝達機構の構造を示す別紙2-5-13図を追加しました。また、図の追加に伴い以降の図の図番号を修正しました。	2023/1/17	
94	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.25~35	「機能維持評価用加速度が機能確認済加速度ATを超過する弁に対する配管反力チェックについて」の説明を参考資料1として追加しました。	2023/1/17	
95	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.47	以下のとおり、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)残留熱除去系の系統図を図1_2に示す。 (新)残留熱除去系の系統図を図1に示す。	2023/1/17	
96	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.50	流体による系統圧力Pbの設定根拠について説明を追加しました	2023/1/17	
97	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.50	表2について、加速度の単位を修正しました。	2023/1/17	
98	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.54	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)機能確認済加速度の設定根拠となった加振試験(耐特委* <sup>1</sup> )で用いた試験体 (新)機能確認済加速度の設定根拠となった加振試験(「動的機器の地震時機能維持に関する研究」* <sup>1</sup> )で用いた試験体	2023/1/17	
99	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.54	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)駆動部の試験体選定の考え方はJEAG4601(耐特委)と同等である。 (新)駆動部の試験体選定の考え方は「動的機器の地震時機能維持に関する研究」と同等である。	2023/1/17	
100	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.54	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)注記*1:原子力発電耐震設計特別調査委員会報告書「動的機器の地震時機能維持評価に関する調査報告書(昭和62年2月)」 (新)注記*1:原子力発電耐震設計特別調査委員会報告書「動的機器の地震時機能維持評価に関する調査報告書(昭和62年2月)」(以下「耐特委」という。)にて審議され、JEAG4601に反映されている。	2023/1/17	
101	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.57	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)また、JEAG4601(耐特委)との試験方法の比較を表2.4-4に示す。 今回の試験方法がJEAG4601と同等であることを確認した。 (新)また、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった「動的機器の地震時機能維持に関する研究」との試験方法の比較を表2.4-4に示す。 今回の試験方法が「動的機器の地震時機能維持に関する研究」と同等であることを確認した。	2023/1/17	
102	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.59,66,68,73,82	試験体据付状況図にX,Y,Z方向がどの方向を示しているのか分かるよう凡例を追加しました。	2023/1/17	
103	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.59,66,68,73,81	加速度計の取付位置を図に追記しました。	2023/1/17	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
104	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.61	島根2号機に耐震ブラケットを装備する必要がある二次減速機付きの電動弁がない旨、追記しました。	2023/1/17	
105	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.62	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表2.5-2 試験体概要 (新)表2.5-2 試験体概要(空気作動弁)	2023/1/17	
106	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.63	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)また、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった加振試験(耐特委)で用いた試験体との比較について、表2.5-3に示す。 島根2号機、今回試験及びJEAG4601で使用している駆動部型式が同等であることを確認した。 (新)また、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった「 <u>動的機器の地震時機能維持に関する研究</u> 」で用いた試験体との比較について、表2.5-3に示す。 島根2号機、今回試験及び「 <u>動的機器の地震時機能維持に関する研究</u> 」で使用している駆動部型式が同等であることを確認した。	2023/1/17	
107	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.64	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表2.5-3 試験体の比較 (新)表2.5-3 試験体の比較(空気作動弁)	2023/1/17	
108	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.64	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)また、JEAG4601(耐特委)との試験方法の比較を表2.5-5に示す。 今回の試験方法がJEAG4601と同等であることを確認した。 (新)また、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった「 <u>動的機器の地震時機能維持に関する研究</u> 」との試験方法の比較を表2.5-5に示す。 今回の試験方法が「 <u>動的機器の地震時機能維持に関する研究</u> 」と同等であることを確認した。	2023/1/17	
109	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.70	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)また、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった加振試験(耐特委)で用いた試験体との比較についても、表2.6-1に示す。 島根2号機、今回試験及びJEAG4601で使用している主蒸気逃がし安全弁が同等であることを確認した。 (新)また、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった「 <u>動的機器の地震時機能維持に関する研究</u> 」で用いた試験体との比較についても、表2.6-1に示す。 島根2号機、今回試験及び「 <u>動的機器の地震時機能維持に関する研究</u> 」で使用している主蒸気逃がし安全弁が同等であることを確認した。	2023/1/17	
110	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.72	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)また、JEAG4601(耐特委)との試験方法の比較を表2.6-3に示す。 今回の試験方法がJEAG4601と同等であることを確認した。 (新)また、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった「 <u>動的機器の地震時機能維持に関する研究</u> 」との試験方法の比較を表2.6-3に示す。 今回の試験方法が「 <u>動的機器の地震時機能維持に関する研究</u> 」と同等であることを確認した。	2023/1/17	
111	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.75,79	b.安全弁機能試験結果の記載と図2.6-8が整合するよう、記載及び図を適正化しました。	2023/1/17	
112	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.76	安全弁作動試験について、加振後においても安全弁機能が維持されていたと判断した根拠の詳細を追記しました。	2023/1/17	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
113	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.80	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表2.7-1に、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった加振試験(耐特委)で用いた試験体との比較を示す。 島根2号機、今回試験及びJEAG4601に使用している主蒸気隔離弁が同等であることを確認した。 (新)表2.7-1に、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった「動的機器の地震時機能維持に関する研究」で用いた試験体との比較を示す。 島根2号機、今回試験及び「動的機器の地震時機能維持に関する研究」に使用している主蒸気隔離弁が同等であることを確認した。	2023/1/17	
114	NS2-補-027-04改10	動的機能維持の詳細評価について(新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について)	P.81	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)また、JEAG4601(耐特委)との試験方法の比較を表2.7-3に示す。 今回の試験方法がJEAG4601と同等であることを確認した。 (新)また、JEAG4601に規定されている機能確認済加速度の設定根拠となった「動的機器の地震時機能維持に関する研究」との試験方法の比較を表2.7-3に示す。 今回の試験方法が「動的機器の地震時機能維持に関する研究」と同等であることを確認した。	2023/1/17	
115	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.2.27	添付2のタイトルについて、以下のとおり、記載を追加しました。(下線部参照) (旧)機能維持評価用加速度の応答増加が確認された弁に対する要因の推定 (新)高振動数領域の考慮によって機能維持評価用加速度の応答増加が確認された弁に対する要因の推定	2023/1/17	
116	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.2	「2. 動的機能維持評価対象弁の選定」について、別の補足説明資料とし、本補足説明資料中からは削除しました。	2023/1/17	
117	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.5	スペクトルモーダル解析に使用する床応答スペクトルは水平2方向及び鉛直方向を考慮する旨、説明を追記しました。	2023/1/17	
118	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.5	有意な応答増加の確認について、振動数領域を50Hzにした場合の応答加速度と振動数領域を100Hzにした場合の応答加速度を比較して確認していることが分かるよう説明を追記しました。	2023/1/17	
119	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.6.27	高振動数領域まで考慮した場合に有意な応答増加がないことを確認した弁と有意な応答増加を確認した弁の数を修正しました。	2023/1/17	
120	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.8~20	表2について、備考の列を削除して判定区分の列を追加しました。判定区分の追加に伴い、判定区分の説明を注記*5として追記しました。	2023/1/17	
121	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.17~21	表2にRCW、TSW及びRWL系統の弁を追加しました。弁の追加に伴い、No.及び表2の全数を修正しました。	2023/1/17	
122	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.22	表3にRCW系統の弁を追加しました。	2023/1/17	
123	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.23	床応答スペクトルの作成について、参照先となる補足説明資料を追記しました。	2023/1/17	
124	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.23	図1の床応答スペクトルの範囲について、以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用床応答スペクトル (新)弁の動的機能維持評価用床応答スペクトル	2023/1/17	
125	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.23	以下のとおり、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)動的機能維持の評価対象弁が設置されている (新)動的機能維持評価の評価対象弁が設置されている	2023/1/17	
126	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.27	表1にRCW系統の弁を追加しました。	2023/1/17	
127	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.27	図1の床応答スペクトルの範囲について、以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)AV223-1の機能維持評価用加速度算出に用いた配管モデル図を図1-1及び図1-2 (新)AV223-1の機能維持評価用加速度算出に用いた配管モデル図を図1-1及び図1-2	2023/1/17	
128	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.27,28,32,33, 35~39	AV223-1の機能維持評価用加速度算出に使用した床応答スペクトルを図3-1、図3-2及び図3-3として追加しました。また、図の追加に伴い、本文及び図番号を修正しました。	2023/1/17	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
129	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.28,40,41,47,48	AV217-10Bの機能維持評価用加速度算出に使用した床応答スペクトルを図7-1, 図7-2 及び図7-3として追加しました。また, 図の追加に伴い, 本文及び図番号を修正しました。	2023/1/17	
130	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.28,49~60	原子炉補機冷却系B-RHR 熱交冷却水出口弁(MV214-7B)に対する有意な応答増加要因の検討の説明を追加しました。説明の追加に伴い, 図9-1, 図9-2, 図10, 表6, 図11-1, 図11-2, 図11-3, 表7, 図12-1及び図12-2を追加しました。	2023/1/17	
131	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.28	MV214-7Bについて, 以下のとおり, 記載を追加しました。(下線部参照) (旧)AV223-1及びAV217-10B では, ... (新)AV223-1、AV217-10B 及びMV214-7B では, ...	2023/1/17	
132	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.61	床応答スペクトルの作成方法について, 参照先の補足説明資料を追記しました。	2023/1/17	
133	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.61	作成する床応答スペクトルの作成方法を具体的に記載しました。	2023/1/17	
134	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.62,63	表1について, RCW, TSW及びRWL系統の弁を追加しました。	2023/1/17	
135	NS2-補-027-05改03	弁の動的機能維持評価について	P.88,89	RWL系統の弁の評価に関連する屋外配管ダクトのFRSを追加しました。	2023/1/17	
136	NS2-補-027-10-98	動的機能維持評価対象弁の選定について	全般	適正化No.116に伴い, 表紙と目次を新たに作成し「動的機能維持評価対象弁の選定について」の説明を記載しました。また, 項目番号, 表番号及び図番号を修正しました。	2023/1/17	
137	NS2-補-027-10-98	動的機能維持評価対象弁の選定について	P.1,3~6,7,11,12	「整理する」という記載について, 意味が明確になるように見直して適正化しました。	2023/1/17	
138	NS2-補-027-10-98	動的機能維持評価対象弁の選定について	P.11	RWL系統の弁について, 以下のとおり, 弁番号の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)V252-330 (新)V252-6000	2023/1/17	
139	NS2-補-027-10-98	動的機能維持評価対象弁の選定について	P.12	重大事故等対処施設として動的機能維持が要求される弁が新たに追加されないことの確認の参照先となる補足説明資料を追記しました。	2023/1/17	
140	NS2-補-027-10-76改02	弁の応答加速度と駆動部の動作機能確認済加速度の比較の考え方について	P.9	表2について, 実際の記載に合わせて注記を追加しました。	2023/1/17	
141	NS2-補-027-10-31改05	重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について	P.1	以下のとおり, 補足説明資料の資料番号を修正しました。(下線部参照) (旧)NS2-補-027-05「弁の動的機能維持評価について」 (新)NS2-補-027-10-98「動的機能維持評価対象弁の選定について」	2023/1/17	